

令和6年度 障がい者支援施設南富良野こざくら園事業実績報告

第1 総括

障がい者支援施設南富良野こざくら園は、安心、安全な環境のもとで、ご利用者一人ひとりの意思を尊重し、本人主体となるよう意思決定支援を推進しました。

新型コロナウイルスなどの感染症予防については、行動指針に準じた基本的な感染対策を徹底し、集団感染が発生したことを教訓に、高齢者や重症化リスクの高い方が生活している事業所であることを再認識したうえで、様々な状況に対応できるように職員全体の意識向上を図りました。

また、ご利用者に対して一人ひとりが抱える障がいや生活課題、ストレスに応じ、よりきめ細かな個別支援を提供できるように努め、職員間のコミュニケーションを活性化することでご利用者の安心、安全な生活の実現と明るく活気のある職場づくりを推進しました。

なお、令和6年度は以下の項目を重点的に取り組みました。

1 虐待防止と権利擁護の推進

虐待関連の報道に対して情報提供を行うとともに、ご利用者の権利擁護と虐待防止の徹底を図るために虐待防止担当者を中心とした、各種取り組みや研修などを通して、職員一人ひとりの意識の向上とご利用者の尊厳を守ることを徹底しました。また、職員は「見て見ぬふり」をせず、お互いにけん制し合うことで不適切な行為がないように徹底し、適切なサービス提供に努めました。

2 身体拘束適正化の推進

ご利用者の人格と人権を尊重した支援サービスの推進を図るため、障がい者虐待防止法、身体拘束等適正化のための指針に基づき、定期的な委員会の開催や研修などを通して、身体拘束廃止に向けて取り組みました。

3 意思決定支援の推進

ご利用者の意思や人格を尊重し、常にご利用者の視点、立場に立った専門性の高い支援サービスの提供に努めました。また、ご利用者一人ひとりが、日常生活の様々な場面で自らの意思が反映された生活が送れるように自己決定を尊重し、「本人主体の支援」を構築しました。

4 事故防止のリスクマネジメント

ご利用者の高齢化や身体機能の低下に伴い、転倒や誤嚥などのリスクが高まっている傾向から、ご利用者一人ひとりが安心、安全な生活を送れるように、施設内研修をはじめ、ひやり・はっとの検証、職員への指導、教育の徹底などスキルの向上を図りました。また、職員一人ひとりの「気づき力」の向上と「ひと言掛け合う」習慣化を図り、コミュニケーションを円滑にすることでご利用者の事故防止に努めました。

5 感染症予防対策の徹底

新型コロナウイルスをはじめ様々な感染症に対して、ご利用者には十分説明をしたうえで予防対策の協力を依頼し、職員は行動指針に基づき、感染症を持ち込まないための意識向上を図りました。また、過去に発生した集団感染での課題を十分に検証し、事業継続計画（BCP）や感染症対策マニュアルの内容を更新し、一層の予防対策に努めました。

6 特定技能実習者のスキルアップ

言語や慣習の違いなどに配慮したうえで、仕事や生活面に対するサポート体制を継続し、特定技能実習者が働きやすい環境づくりに努めました。また、実習者がこれまで培った知識や経験を踏まえ、個別の状況に応じて技術向上を図りました。

第2 運営組織

(1) 職員配置状況（令和7年3月31日現在）

区分	園長	サービス 管理責任者	総務課	支援課	臨時	短時間	計
男性	1	1	1	9	1	1	14
女性			1	10		6	17
計	1	1	2	19	1	7	31

第3 ご利用者の状況（令和7年3月31日現在）

(1) 各棟の男女別状況

区分	東棟	西棟	計
男性	26		26
女性		13	13
計	26	13	39

(2) 年齢別

区分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高 年齢	最小 年齢	平均
男性	0	3	4	3	14	1	1	84歳	20歳	47.6歳
女性	0	0	4	3	2	2	2	73歳	34歳	49.9歳
計	0	3	8	6	16	3	3			48.3歳

(3) 障がい別

区分	てんかん	自閉傾向	統合 失調症	身体 障がい	ダウン症	視覚 障がい	聴覚 障がい	言語 障がい	体幹機能	心臓 疾患
男性	10	19	0	1	0	0	0	7	2	0
女性	3	2	3	1	2	0	0	2	1	2
計	13	21	3	2	2	0	0	9	3	2

(4) 障害支援区分

支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男性	0	0	0	2	1	23	26	5.81
女性	0	0	0	1	3	9	13	5.62
計	0	0	0	3	4	32	39	5.72

第4 事業と運営方針

1 事業の内容

(1) 生活介護事業 定員：40名（在籍数：男性26名、女性13名）

ご利用者が日中に日常生活または社会生活を営むことができるよう、食事の支援・入浴・排せつ・洗濯及び生活全般に関する相談、日中活動並びに創作的活動の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行いました。

(2) 施設入所支援事業 定員：40名（在籍数：男性26名、女性13名）

ご利用者に対し、夜間などにおける入浴・排せつ・食事の支援などを行うとともに、その他の便宜を適切かつ効果的に行いました。

(3) その他の事業

短期入所事業	各事業のご利用はありませんでしたが、関係機関へ情報提供を行いました。
日中一時支援事業	

2 運営方針の内容

(1) 総務課・総務係

ご利用者の生活環境向上に伴う施設の適正な環境保全と、安定した施設経営に努めました。

施設運営の強化	令和6年度の介護報酬改定に伴い、各サービスの基準を順守するとともに、変更された各種加算などの内容を十分に把握し、適切に介護給付費の請求事務を行いました。ご利用者の入退所状況に応じて、迅速に各関係機関と連携を図り、定員の充足に努めました。また、開設から35年が経過しており、施設内の老朽化及び各箇所の修繕が年々増えている状況であるため、今後の施設としての中長期計画も踏まえ、計画的な予算執行に努めるとともに、近年の電気料などの大幅な値上がりや物価の高騰に伴い、ご利用者に不利益にならない程度で経費の節約を行い、法人全体を通して経営の安定化に繋がるよう努めました。
施設等保全管理	ご利用者の生活環境と生活支援向上並びに職員の労働環境改善のため、園舎管理と備品などの計画的な修繕、更新を適宜行いました。 (主な事業) (1) ほのぼの carepallet、勤怠管理システム導入 (2) 各箇所LED照明器具取替工事 (3) ご利用者ベッドフレーム、マットレス購入
栄養管理	給食委託業者と連携を図り、衛生管理の向上と感染症予防対策の徹底に努めました。また、疾病などによるご利用者の生活機能及び健康状態に対して、栄養上の課題やリスクの洗い出しを行い、それを基に栄養ケアマネジメントを実施し、ご利用者の生活機能、健康状態の維持及び改善に努めました。自然災害などによる非常災害に備えて、非常食献立の作成、在庫管理などを適正に行い、必要に応じた非常食の更新を図りました。
メニューの多様化	ご利用者個々人の希望が反映されるよう定期的にご利用者を対象とした嗜好調査を実施し、嗜好に配慮した献立作成に努めました。新型コロナウイルス感染症などにより施設外での会食などが難しい状況にあるため年間を通して選択メニューや行事食の充実を図ります。また、施設内で行える屋外での会食提供を模索し、ご利用者が季節感や満足感、食事を通して楽しみを得られるよう努めました。

職員の健康管理	定期健康診断または生活習慣病検診を実施し、職員の健康保持を推進しました。職員の健全な心身を保つために、働き方改革に基づき計画的な有給休暇の取得や一部業務の簡素化を図りました。また、職員個々人の業務に対する意識改革を進め、健康で活気ある職場づくりに努めました。
防災・防犯体制の整備	火災や大規模な自然災害の発生に備え、避難訓練を計画的に実施し、ご利用者及び職員の意識の向上に努めました。非常用自家発電設備においては、停電の際に確実な運転がなされるよう、専門業者に依頼し定期保守点検を行いました。防犯体制については、町内の駐在所との協力体制を図り、ご利用者の安全確保に努めるとともに、防犯訓練や講習会を通して、不審者侵入時の対応方法などについて職員の意識、スキルの向上に努めました。非常災害備品や防犯備品などについては、適正に管理し、必要に応じて適宜整備、更新を進めました。

(2) 生活支援課・生活支援係

安心、安全な環境のもとで、本人主体となるようご利用者一人ひとりの自己決定を尊重し、権利擁護に努めました。また、よりきめ細かな支援を提供できるように「気づき力」の向上を図り、ご利用者の幸福な生活の実現に努めました。

権利擁護と虐待防止の徹底	北海道障がい者条例、障害者虐待防止法、障害者差別解消などの関係法令を遵守し、職員一人ひとりの意識の向上とご利用者の尊厳を守ることを徹底しました。また、職員は「見て見ぬふり」をせず、お互いにけん制し合うことで、人権侵害が生じることをないように努めました。また、「ひやり・はっと事例」の検証を行い、有効的な支援対策や改善策を講じ、リスクマネジメントに努めました。
個別ニーズとストレングスに着目した支援計画の作成	一人ひとりの障がいや、ニーズに応じた適切な支援サービスを提供するために、ご利用者やご家族の意思、意向を尊重しながら個別支援計画を作成しました。作成にあたっては、課題改善にばかり目を向けるのではなくストレングスに着目し、その能力を十分に発揮できるように努めました。また、アセスメント、モニタリングを定期的に行い、日常生活における現状や課題などを総合的に考慮したうえで、安心、安全な生活環境の提供に努めました。
生活支援の充実	ご利用者の特性を考慮し、個々のペース、人権を尊重したうえで生きがいを感じられる生活支援の充実を図りました。食事・入浴・排せつなどの支援には個別の配慮を行うとともに、潤いのある支援の提供に努めました。
強度行動障がい者の支援	ご利用者個々の特性について十分に理解したうえで、基礎研修修了者の専門的知識と支援スキルを活かし、障がいの重いご利用者が安心、安全で幸せな暮らしを送ることができるよう努めました。
重度、高齢ご利用者の支援と介護技術の向上	ご利用者の重度、高齢化が進む中、メディカルチェック（健康度、体力）を常に把握し、食事、健康面に配慮した安心、安全な生活環境の提供に努め、急なADLの低下にも対応できるように、職員間で情報共有を行いました。また、介護福祉士などの有資格者による内部研修を計画し、職員の介護における知識、技術向上に努めました。

意思決定支援の推進	ご利用者の意思や人格を尊重し、ご利用者の視点、立場に立った専門性の高い支援サービスの提供に努めました。また、ご利用者一人ひとりが、日常生活の様々な場面で自らの意思が反映された生活が送れるように自己決定を尊重し、「本人主体の支援」を構築しました。
学生実習などの受け入れと障がい者福祉の啓蒙、啓発	諸学校などの学生実習を受け入れ、施設の役割や仕事の内容について情報提供を行いました。特に学生実習者には、福祉の魅力を肌で感じていただくことで、将来の就職先候補としてご検討いただけるように丁寧に指導しました。また、町内の小、中、高等学校による総合学習やインターンシップなども受け入れ、地域との交流を深める機会の確保と「障がい者福祉」の啓蒙・啓発に努めました。
感染症予防対策の徹底	新型コロナウイルスをはじめ様々な感染症に対して、ご利用者には十分説明をしたうえで予防対策の協力を依頼し、職員は行動指針に基づき、感染症を持ち込まないための意識向上を図りました。また、過去に発生した集団感染での課題を十分に検証し、事業継続計画（BCP）や感染症対策マニュアルの内容を更新し、一層の予防対策に努めました。
研修会の実施、参加	オンラインでの研修が主流となっている中、道社協や各協会が主催する外部の研修会へ可能な範囲で参加し、職員のスキル向上と外部ネットワークの構築につなげました。
人材育成と定着化	人事考課制度やスーパービジョンを活用した人材の育成に取り組むことで、支援サービスにおける知識や技術の向上を図るとともに、資格取得などを含めた自己研鑽における意識の醸成を図りました。また、誰もが働きやすい風通しの良い職場環境づくりを推進し、明るく活気のある職場とすることで、職員の定着化を図りました。
特定技能実習者のスキルアップ	言語や慣習の違いなどに配慮し職場環境を整えたうえで、実習者がこれまで培った知識や経験を踏まえ、個別の状況に応じてステップアップを図りました。また、気軽に相談できる窓口や日常生活をサポートする体制を構築しました。

① 生活介護事業（生活支援）

日常生活がより充実したものとなるよう、日々の暮らしに配慮しました。整容面や居住空間などの衛生面にも気を配り、意思決定を基に個々のニーズに応じた環境の整備を行いながら、生きがいを持てる生活の実現に向けた福祉サービスの提供に努めました。

◇生活支援課◇

《自立した日常生活又は社会生活を営むことができるための支援》

生活支援	食事、歯磨き、服薬、衛生、排せつ、整容、入浴、居室内清掃、衣類整理などの ADL の向上を図るとともに、日常生活における情緒の安定などを図りました。
生活空間の充実	棟内の居室内空間への配慮及び環境整備に努めました。
定期巡回	体調確認、行事連絡、話題提供などのコミュニケーションを支援しました。
行動障がい者に対する支援	ご利用者個々の特性と施設内環境の関係性に着目し、情緒安定につながる個別支援を提供しました。

高齢者に対する支援	身体機能などが低下している高齢者に対して、適切な支援・介護・見守りを行えるように、研修・指導などでスキル向上を図ることで転倒・怪我防止に努めました。
健康管理	体調確認における検温、必要に応じた血圧測定を実施し、健康面の変化にいち早く気づけるように努めました。
食育環境づくり	個々の食育に関する意欲増進と、落ち着いて食事が行えるように食事環境への配慮を行いました。
施設イベント	季節・屋外でのイベント、スポ・レク交流会、合同花火大会、ふれあいフェスタ、ハロウィーン、クリスマス会、旅行、外出行事など、感染予防に留意しながら楽しんでいただける内容を企画、実施しました。
町内行事	かなやま湖水まつりに参加しましたが、感染症予防対策に伴い、その他不特定多数が集まる行事への参加は控えました。

◇活動支援係：日中活動◇

個々の活動能力やニーズに応じた日中活動を提供し、生産活動や創作活動を実施しました。また、活動を通じて体力の増進と情緒の安定を図り、生きがいと達成感を得られるように支援しました。

《生産科～生産活動》

むぎわら班	農産活動（農産物（アスパラ、芋など）収穫、豆磨き、豆選別）、除雪などを実施しました。
あおぞら班	災害備蓄用パン缶拭き・検品など、創作的活動、販売物の制作、園内清掃、花壇整備を実施しました。
いんさつ班	封筒、諸台帳、名刺、年賀状、広報誌、チラシなどの印刷を実施しました。

《創作科：なごみ班》

創作活動	町内展示会（障がい者週間記念事業）、道北あーと展、施設内展示会に向けた創作品製作などを実施しました。
演芸活動	スポ・レク交流会、ふれあいフェスタ、ぴあ・すてーじで「よさこい演舞」を披露しました。

《創作科：なごみ班（個別活動）》

生きがい活動	ウォーキング、レクリエーション、音楽活動などを実施しました。
体力作り	軽運動、日光浴、散歩、体操、フロアカーリングなどを実施しました。
創作活動	園内装飾づくり（壁画や季節にあった装飾）を実施しました。
自立課題活動	障がい特性に合わせた自主制作グッズを使用した活動を実施しました。

◇生活支援課：健康支援係◇

ご利用者の健康面に配慮し、協力医療機関と連携を図り、疾病の早期発見や早期治療に努めました。また、年間計画に沿った保健衛生と健康支援を行い、心身共に健やかな生活を送ることができるよう支援しました。

定期通院	各診療科目における定期通院、必要に応じた通院を行いました。
各種検診	歯科検診、健康診断、胃がん検診、婦人科検診を行いました。
感染症予防対策	感染症マニュアルやオゾン発生器の活用と施設内ゾーニングによるインフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルスなどの感染症予防対策を行いました。
口腔ケア	摂食や嚥下障害による誤嚥性肺炎防止の意識向上を図りました。また、肺炎や誤嚥を防ぐことを目的に、嚥下調査の実施や正しい摂食と嚥下法や口腔ケアについて学びました。
緊急時の対応	緊急時は医療連絡網に沿い、迅速且つ的確に対応しました。
その他	必要に応じた処置、服薬管理、インフルエンザ、新型コロナウイルス予防接種、各種申請などを実施しました。

◇生活支援課：地域移行係◇

社会生活の実現に向けて、地域生活移行に必要なスキルの取得を支援しました。ご利用者個々に必要なスキルの習得を目指すとともに、外出や調理実習、地域生活の体験、グループホームの見学など、具体的な地域生活移行支援を実践しました。

施設外支援	地域の事業所において、就労に繋げるための支援及び事業所巡回訪問を実施しました。
施設内支援	施設内で施設外支援に必要とするスキル習得を目的とした支援を行いました。
地域生活移行支援	地域生活移行に必要なスキル習得のため、グループホーム、就労支援事業所の見学、調理実習、買い物外出訓練などを実施しました。
その他	12月3日から9日までの期間で障がい者週間事業に係る各種事業を実施しました。

◇ご利用者自治会活動の支援（虹の会）◇

日常生活に必要な意見交換や情報提供を行い、ご利用者主体の自治会活動に繋げるため、各種事業や計画立案を側面から支援しました。また、ご利用者の地域貢献活動を実施し、障がい者の社会参加の機会拡充に努めました。

事業・行事の立案	事務局がサポートした中で役員が中心となり、総会、余暇行事などの企画、立案を行いました。
情報提供	ポスター、資料づくりを行い、ご利用者へ情報提供を行いました。
自動販売機	自動販売機を活用し、ジュースの販売を行いました。
各種委員会	定期的に役員会を実施しました。
誕生会	誕生会プレゼントの助成、長寿のお祝いを行いました。
施設内衛生活動	清掃チェック、感染症予防啓発活動を実施しました。
地域貢献活動	町内除雪ボランティアに参加しました。
協会本人部会	北・北海道知的障がい福祉協会「すずらんの会」に参加しました。
生活向上	役員が中心となり余暇の立案、助成を行いました。

◇「南富良野こざくら園家族の会」の事務局支援◇

「南富良野こざくら園家族の会」との相互連携を図り、コーヒーショップ「りとる」の円滑な営業や整備、各種事業の推進に努めました。また、ご家族と連携を図り、各種事業や施設運営に対する助成や事務協力を進めました。

② 施設入所支援事業

住まいの環境において、健康で主体性のある生活を送ることができるよう適切な支援を行い、生活の主体者であることを実感できる支援に努めました。

日常生活での支援	起床、就寝、食事、歯磨き、服薬、衛生、排せつなどを支援しました。
個室化の充実	棟内の居室内空間への配慮及び環境整備に努めました。
就寝前支援	寝具や衣類交換、トイレ誘導などを支援しました。
職員による定期巡回	定期巡回を行う中で、体調確認、安全確認などを支援しました。
行動障がい者に対する支援	ご利用者個々の特性と施設内環境の関係性に着目し、情緒安定につながる個別支援を提供しました。
高齢者に対する支援	身体機能などが低下している高齢者に対して、適切な支援・介護・見守りなどを行いました。
健康確認	体調確認における検温、必要に応じた血圧測定を実施し、健康管理に努めました。

3 職員の研修、研究体制

○関係機関の主催する各研修会などの参加は次のとおりです。

研修事業名	参加職員	参加延人数
日本・北海道知的障がい福祉協会	園長・サビ管・支援員	6人
北・北海道知的障がい福祉協会	園長・サビ管・支援員	4人
その他	園長・サビ管・支援員	4人

○施設主催による各研修会は次のとおり実施しました。

研修名	開催回数	参加職員
新任者研修	合同研修1回 (4月) こざくら園内部研修会2回 (4月、5月)	令和6年度採用職員
内部研修会	合同研修4回 (6月、7月、10月、11月) こざくら園内部研修1回 (12月)	74名(全職員対象)
階層別研修	6回 (4月、8月、9月、12月、2月、3月)	36名(全職員対象・階層別)

令和6年度 主要事業等報告書

【南富良野こざくら園】

1. 事業実施概要

月	日	期 間	内 容
4月	1日(月)		令和6年度辞令交付式 ご利用者 澤山 正博さん施設利用開始 権利擁護虐待防止研修会
	8日(月)		虹の会総会
	13日(土)		緑陽台歯科検診
	16日(火)		吉岡経営センター「人事考課者研修」
	19日(金)		ご利用者・職員前期健康診断
	22日(月)		4月誕生会
	24日(水)		一味園喫茶「りとる」
	25日(木)		町内飲食店テイクアウト弁当
	29日(月)		理容日
5月	3日(金) ～6日(月)	4日間	春季一時外泊(旭川方面・帯広方面)
	4日(土)		余暇行事「お花見ドライブ」
	15日(水)		ご利用者ベッド交換
	18日(土)		第1回法人施設見学会
	20日(月)		5月誕生会
	21日(火)		こざくら園家族の会役員会
	22日(水)		法人決算監査
	24日(金)		町内飲食店テイクアウト弁当
	27日(月)		理容日
	28日(火)		からまつ園・こざくら園合同火災避難訓練
	29日(水)		観桜会
	31日(金)		一味園喫茶「りとる」
6月	6日(木)		障がい3事業所合同防犯訓練
	7日(金)		北・北海道福祉協会ソフトボール大会参加
	10日(月)	13日間	旭川福祉専門学校学生実習開始
	12日(水)		第1回理事会
	27日(木)		第1回評議員会 町内飲食店テイクアウト弁当
7月	6日(土)		第41回スポ・レク交流会、こざくら園家族の会総会
	9日(火)		小田嶋春美さん 旭川医科大学病院入院
	13日(土)		小田嶋春美さん 旭川医科大学病院退院
	17日(水)		日帰り買い物外出
	20日(土)		法人職員交流会
	22日(月)	10日間	経専北海道短期大学実習生実習開始
	24日(水)	11日間	札幌スポーツ&メディカル専門学校実習生実習開始 熱夏祭、法人内部研修「人事考課被考課者研修」
	25日(木)		町内飲食店テイクアウト弁当
	27日(土)		金山湖湖水まつり「大乘会福祉自然体験塾」 第3回法人施設見学会
	29日(月)		理容日
	30日(火)		7月誕生会
8月	5日(月)		北都プロレス観戦
	7日(水)		町外外出②

9日(金) ～12日(月)	4日間	夏季一時外泊(旭川方面・帯広方面)
21日(水)		ご利用者 三橋 緑さん施設利用開始 法人定例監査
22日(木)		水害想定避難訓練
23日(金)		8月誕生会
27日(火)		七夕祭
29日(木)		町内飲食店テイクアウト弁当
9月 7日(土)		ふれあいフェスタ
12日(木)		花火大会
17日(火)		ご利用者 土田 真理子さん 旭川医科大学病院入院
19日(木)		第30回道北スポーツ交流会
20日(金)		胃がん検診
23日(月)	6日間	ご利用者 土田 真理子さん 旭川医科大学病院退院
24日(火)		9月誕生会
25日(水)		日帰り買い物外出③ アスカマネジメント「法人内部研修会」
26日(木)		第2回理事会 町内飲食店テイクアウト弁当
28日(土)		第5回施設見学会
10月 1日(火)		ナビラ生活支援員採用(特定技能実習生)
7日(月)		特定技能実習生3期生辞令交付式
9日(水)		インフルエンザ予防接種
10日(木)		ふらの三番館出張販売
15日(火)		紅葉祭
19日(土)		第6回施設見学会
21日(月)	10日間	旭川市立大学実習生実習開始 10月誕生会
22日(火) ～23日(水)	2日間	ご利用者一泊旅行(帯広市)
23日(水)		エキノコックス検診
24日(木)		町内飲食店テイクアウト弁当 法人内部研修「防災研修」
26日(土)		名寄大学就職合同説明会
26日(土) ～27日(日)	2日間	ねむの木学園視察研修
29日(火)		南富良野町スポーツ交流会
30日(水)		ハロウィンバイキング
11月 5日(火)		ドディ生活支援員採用(特定技能実習生)
8日(金)		特定技能実習生3期生辞令交付式
12日(火)		乳がん・子宮がん検診
14日(木) ～15日(金)	2日間	法人役員研修(登別市)
19日(火)		町内飲食店テイクアウト弁当
21日(木)		インフルエンザ予防接種
23日(土)		ぴあ・すてーじ
26日(火)		新型コロナウイルス予防接種 11月誕生会
12月 1日(日)		松田生活支援員採用
3日(火) ～9日(月)	6日間	障がい者週間記念事業

	4日(水)		法人定例監査
	9日(月)		曹友会
	12日(木)		新型コロナウイルス予防接種
	18日(水)		クリスマス会
	20日(金)		ご利用者 林 京子さん北の峰病院入院
	23日(月)		第3回理事会
	24日(火)		12月誕生会
	26日(木)		町内飲食店テイクアウト弁当
	30日(月)		年末挨拶回り
	31日(火)		大晦日
1月	1日(水)		正月 新年を祝う会
	4日(土)		出初式
	6日(月)		年始挨拶回り
	6日(月) ～9日(木)	4日間	冬季一時外泊期間
	12日(日)		ご利用者 土井 博翔さん 成人を祝う会 ドディ生活支援員成人式
	23日(木)		1月誕生会
	27日(月)		理容日
	29日(水)		町内飲食店テイクアウト弁当
	30日(木) ～31日(金)	2日間	北海道運営指導監査
2月	4日(火)		ご利用者 柴口 清二さん北の峰病院入院 法人オリエンテーション
	13日(木)		法人研究発表会
	14日(金)		バレンタイン企画
	17日(月)	13日間	ご利用者 柴口 清二さん北の峰病院退院 理容日
	18日(火)		こぞくら園冬まつり 法人役職者研修会
	20日(木)		2月誕生会
	26日(水)		ご利用者 林京子さん入院時一時外泊開始 第4回理事会
	27日(木)		ご利用者 林 京子さん入院時一時外泊終了 町内飲食店テイクアウト弁当
	28日(金)		地震想定避難訓練
3月	3日(月)		ひな祭り ご利用者 林 京子さん入院時一時外泊開始
	5日(水)		法人定例監査 ご利用者 林 京子さん入院時一時外泊終了
	12日(水)		お疲れ様会
	14日(金)	79日間	ご利用者 林 京子さん北の峰病院退院
	18日(火)		3月誕生会
	19日(水)		第5回理事会
	24日(月)		理容日
	25日(火)		日中火災想定避難訓練 町内飲食店テイクアウト弁当
	27日(木)		ご利用者 寺井 雅昭さん 富良野協会病院入院
	28日(金)		第3回評議員会
	31日(月)		退職者辞令交付式